

新宮山彦ぐるーぷ第2003回

奥駈道の中又尾根分岐北側の倒木処理と中又尾根踏査

◇実施日：2018年12月15日（土） 晴

◇参加者：沖崎吉信・山川治雄・中村佳文・梶野照雄。4名。

12月9日に奥駈道・中又分岐北側で、チェーンソー刃が挟まって切れずに仕方なくソーチェーンだけ残した柵の大木を、山川さんと二人で15日に切りに行くことになった。

前日に連絡があり、沖崎さんが参加。山川さんは中村さんと一緒に来て下さることになった。その際、沖崎さんから「村吉さんが白谷林道から持経宿まで車で入り、途中で工事していた人に聞くと、池郷林道もこの後工事する」と電話があったとお聞きしました。池郷林道にも工事に入っていれば、持経宿まで車で行けるかもしれない。

池原スポーツ公園で9時に待ち合わせだが、川上村でR169の迂回路を通過するので、30分早く家を出た。R169は待ち時間なしで通過できたので、普段と変わらない時間でスポーツ公園に着き皆の到着を待った。

沖崎車が到着後、山川さんの軽トラが着いて、9時少し前に沖崎車と山川車の2台で林道ゲートへ出発した。

池郷林道は前回とほぼ同じ状況で、若干の落石はあったが、9時20分にゲート到着。ゲート上のアスファルト舗装部分は波打ったままで、奥の深くえぐれていた部分は、谷側の半分に土砂が入れられて、車の通行が可能な状態に均されていた。

道路が掘られた原因となっていた最初の沢まで歩いて確認に行ったら、少しデコボコはあるが車高の高い車は十分通行できる。

ゲートまで戻って、アスファルト舗装に残っていた岩を山川さんと2人で排除して、沖崎車にチェーンソー等を積み込み一台で持経宿へ向かった。



12月9日の工事前



12月15日には土砂が入れら通行可能に



山川、中村さんは、林道途中から中又尾根を指すというところで、2.5km標の少し先、カーブで広がっている所から登り始めた。山川さんは登り口には、赤テープとトラロープを設置された。山川、中村さんを見送り2人で持経宿へ向う。



林道2.5kmの先の登り口に赤テープとトラロープを設置。2人が出発



持経宿まで車で乗り入れ 水場への林道



林道の倒木はそのまま

途中、路面が酷く掘れ込んでいた数カ所は、道路の幅一杯まで重機できれいに均されていた。トラブルなく持経宿に到着。

先日デポしたチェーンソーを倉庫から出して、新しいソーチェーンを取り付けて試運転、エンジンは快調だ。

沖崎さんは、凍結で割れるのを防ぐため、残っていた10Lと20Lのポリタンの水を捨てて、玄関前を掃除。

私はカメラだけ持って水場を確認に行く。水場までの林道も重機できれいに均されていて、走ってもつまずくことがないくらいだ。水場で林道を塞いでいる倒木はそのまま、路面の補修は水場で終わっていた。

水場の水量は減っているが、十分給水可能、ホースの落葉を掃除して、駆け足で小屋に戻った。

土に残ったタイヤ痕は、幅40cm位の金属キャタピラーと2トン位と思われるダブルタイヤが確認できた。おそらく、以前何度か見たことがあるウンボとダンプロトラックであろう。

深くえぐれて土砂の投入が必要な部分は、ダンブで土砂を運び、ウンボで均したと思われる。全体で見ると、補修が必要な路面距

離は500mも無いと思うが、一日で全部を通行可能にして頂いたことに感謝したいと思う。



梅の倒木切除完了



中又尾根を下る

小屋に戻ってすぐに倒木現場へ出発、中又分岐の北側ピークを越えたところでチェーンソーの音が聞こえてきた。山川さんが先着して作業しているようだ。

先日よりも日差しはあるが、風が強くて体感温度は低い。休まずに歩いて丁度いい。

倒木の現場に到着、上部の先端は切り落とされて、中央の隙間に支えが入れられて、挟まれているソーチェーンの部分を切り落とすだけになっていた。上から山川さんのSTHILL製刃長40cmの新品チェーンソーで切り出して、最後の切り落とす部分を私にやらせていただいた。切り落とすと同時に挟まっていたソーチェーンが外れたのですぐに回収、その後もう一カ所を切断して倒木の処理は完了した。

山川さんの刃長が長いチェーンソーの効果で、実質の作業時間は5分ほどだった。山川さんは林道からこの現場まで50分で来たそうだ。

帰りは山川さん達と一緒に中又尾根を下ることになった。沖崎さんは持経宿に戻って、車で林道の下山口へ。



林道への降り口にテープ

林道迄急下り

林道に降り立つ

中又尾根は小さな腐倒木が多く、除けながら下った。急な下り坂ではないので歩きやすい尾根だが、動かせない支障倒木を3本切った。

尾根から林道への降り口にも山川さんの手でテープが付けられ、判りやすくなっている。ここから林道までは直線的な急下りで、積もった落葉で滑りやすいこともあり、今日一番足の筋肉を使った。登りは25分で尾根に着いたようだが、下りは15分だった。林道が見えるちよっと前に車のホーンが聞こえて、沖崎さんが到着しているのが判った。

12時に林道へ降り立ち、沖崎車でゲートまでゆっくり下る。下りは登りよりも路面がよく見えるので比較的走りやすい。持経宿まで車で入れたので、林道歩きの往復2時間強が短縮された。

チェンソーも2台あるので、前鬼・小仲坊で少しだけ薪作りをしようと言うことになり、スポーツ公園に山川車を置いて沖崎

車と私の車2台で前鬼へ向かった。前鬼林道のゲートに到着したが、五鬼助さんは来られていないようで、チェンソーに鍵がかかったままになっていた。仕方なくここで昼食を済ませてその後解散、帰宅した。

帰りR169迂回路は、待ち時間13分、通過時間5分だった。

行動タイム

池原スポーツ公園 08:55→09:20 林道ゲート 09:25→2.5km標先(中又尾根登り口)09:44→10:00 持経宿 10:25→10:50 中又分岐北側・倒木現場 11:12→中又尾根・降り口 11:44→2.5km標先↓林道ゲート 12:14。
(記; 梶野)

